

(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	関市立田原小学校		
実 施 期 間	平成25年9月15日(日)～11月27日(水)		
実 施 概 要	①土曜参観 ②芸術鑑賞会 ③田原ふれあい文化祭参加 ④田原地区敬老会参加 ⑤備蓄米贈呈式 ⑥三ッ池用水学習 ⑦老人福祉施設「ほほえみごごち田原」との交流 ⑧もち米販売活動		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input checked="" type="checkbox"/> 自然 <input checked="" type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input checked="" type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会等 <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	600人	計 610人
	地域関係者	10人	
実 施 状 況	<p>○午前中に親子芸術鑑賞会として、関商工高等学校の吹奏楽部による合奏・マーチングバンドの演技鑑賞を行った。午後は授業参観および学級懇談会を行った。</p> <p>○9月15日(日) 田原地区敬老会でフラダンスクラブがフラダンスを披露した。</p> <p>○11月9日(土) 田原ふれあい文化祭に4年生が「ソーラン」を披露し、3年生が絵画の展示を行った。全校児童や保護者による投句も行った。また、敬老会に続き、今年はフラダンスクラブのダンス披露も行った。</p> <p>○園芸ボランティア委員会が育てた菊を田原ふれあい文化祭の会場で展示したり、老人福祉施設「ほほえみごごち田原」に贈ったりした。昨年から始まった4年生と「ほほえみごごち田原」との交流は2年目を迎え、学校行事に招待したり、施設訪問をしたりして交流している。</p> <p>○11月27日(水)に備蓄米贈呈式を田原小体育館で行った。2・3年生児童が地域の老人会や営農組合の方に教えていただきながら約1反の水田でもち米作りを行った。3年生代表が社会福祉協議会代表の方に、今年度の備蓄米24kgを贈呈した。その後2・3年生全員で防災についての話を聞いた。</p> <p>○11月20日(水)参観日の折りに、2・3年生が収穫したもち米の販売を行った。3年生がチラシ作りから当日の呼びかけを行い、PTA執行部の方に販売の手伝いをしていただいた。</p> <p>○11月11日(月)4年生の社会科「郷土をひらく」の学習で、地区の用水「三ッ池」について地域の方から話を聞いた。現地で、水道事業所の方にも、用水の歴史や現在の課題などについて話を聞いた。</p>		

成果及び課題

- 芸術鑑賞会では、今年初めて関商工高等学校の吹奏楽部を招くことになった。田原小学校出身の生徒もいる地元の高校ということで、保護者の関心も高く、保護者や地域の参加者だけで約130名の参加があり、全校児童等と合わせると約560名の鑑賞会となった。鑑賞後の感想はその迫力や生徒の姿勢に絶賛するものがほとんどで大好評であった。キャリア教育の面でも、特に高学年にとっては憧れや生き方を学ぶ良い機会となった。
- 前年度に贈った備蓄米は地域の一人暮らしの方に「のし餅」として届けられ、今年のもち米が新しく備蓄米として保管されることとなった。代表児童の言葉の中にも「地域に役立ちたい」思いが込められており、地域の方の協力のおかげで行うことができた感謝の気持ちを、備蓄米という形で伝えた。学校便りでも地域や保護者の方にその内容や様子を伝えた。
- 地区の敬老会や文化祭への参加は、児童にとっても保護者にとっても、広く地域の方に学習の成果を観ていただくよい機会としてとらえられている。児童は「発表」を意識して意欲的に練習に取り組むことができ、保護者も送迎や当日の応援など参加に協力的である。また、この2つの大きな行事へは保育園や中学校も参加しており、地域の学校として共に参加・協力していることを、体感する場ともなっている。

地域の方からは、児童の様子をみる良い機会として喜んでいただいております。毎年の参加を楽しみにしてもらっている。
- 昨年度から始まった「ほほえみごごち田原」との交流では、入所の方が子どもたちとの交流を楽しみにしていることを、施設の方から聞く。子どもたちの接し方も会を重ねることで自然な振る舞いができるようになっている。
- 三ッ池の用水についての学習では、地域の方の協力で、歴史や関わる方の願いを聞くことができた。この学習内容を保護者にも伝え、地域の歴史や伝統等について地域全体で伝えあっていくことにつなげていく必要がある。
- 米販売に関わって、今年は3年生の児童が宣伝や販売に携わることができた。昨年度までは販売等はPTAに任せていたが、今年のように関わることで、米作りへの意欲や感謝の気持ちをさらに引き出すことにつながると考える。さらに米づくりの苦労や願い等を深める内容・活動を工夫する必要がある。